

## 静岡・御子ヶ谷遺跡

1 所在地 静岡県藤枝市瀬古字御子ヶ谷

2 調査期間 一九七七年(昭和52)六月～一九七八年二月

3 発掘機関 藤枝市教育委員会

4 調査担当者 八木勝行・原川宏・磯部武男

5 遺跡の種類 地方官衙遺跡(駿河国志太郡衙址)

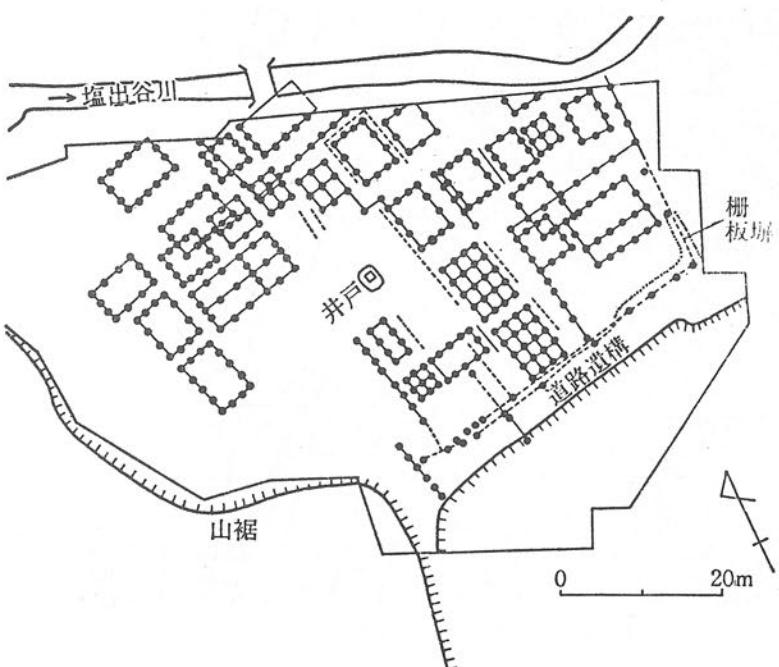
6 遺跡の年代 奈良・平安時代

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

御子ヶ谷遺跡は、志太平野の西端部、海岸線より約七畝ほど入った丘陵地帯の末端に位置し、海拔二六mの平地に立地する。南側を低丘陵に取り囲まれた東西一〇〇m、南北七〇mの狭い範囲にあり、掘立柱建物遺構、井戸、柵、板塀、道路遺構等から構成されている。地形的には限られた区域ながら、コンパクトな形で遺構が配置されている点で大きな特徴を有する。官衙的な性格の強い遺構群の在り方を示し、併せて出土した遺物群によつて、律令時代における駿河国志太郡の郡衙遺構としての可能性が強まつた。

御子ヶ谷遺跡からは、一〇点の木簡が出土している。遺跡の立地上の条件から木製品の保存には恵まれ、各種日常容器・道具類とともに検出される。

一点は板塀で囲まれた建物群中の小土壙中より、多数の木片に混



御子ヶ谷遺跡遺構配置図



九七二)

「御子ヶ谷遺跡の調査－駿河国志太郡

の郡衙遺構－」(月刊文化財'78/2)

「御子ヶ谷遺跡(駿河国志太郡衙跡)の調

査」(静岡県考古学研究I)

藤枝市教育委員会

「日本住宅公団藤枝地区埋蔵文化財発

掘調査概報－昭和五二年度－」(藤枝

市埋蔵文化財発掘調査概報－昭和五二年度

↓

磯部武男  
「御子ヶ谷遺跡『駿河国志太郡衙址』

の調査」(信濃三〇一五)

藤枝市教育委員会

「藤枝市の発掘調査No.2」

一九七八年  
(八木勝行)

一九七八年

一九七八年

一九七八年

「御子ヶ谷遺跡の調査－駿河国志太郡

の郡衙遺構－」(月刊文化財'78/2)

「御子ヶ谷遺跡(駿河国志太郡衙跡)の調

査」(静岡県考古学研究I)

藤枝市教育委員会

「日本住宅公団藤枝地区埋蔵文化財発

掘調査概報－昭和五二年度－」(藤枝

市埋蔵文化財発掘調査概報－昭和五二年度

↓

磯部武男  
「御子ヶ谷遺跡『駿河国志太郡衙址』

の調査」(信濃三〇一五)

藤枝市教育委員会

「藤枝市の発掘調査No.2」

一九七八年  
(八木勝行)

一九七八年

一九七八年

一九七八年



御子ヶ谷遺跡出土の土器墨書銘